


# 一般質問

## 市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>① 浅海 忠（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 幼保連携型認定こども園</li> <li>2 地域教育力活用事業（夜勉）</li> <li>3 市職員のタブレット端末導入</li> <li>4 第三セクター統合</li> </ol>     | <p>⑥ 江田 治雄（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 武甲山の現状</li> <li>2 森林環境税の導入に向けた取組み</li> <li>3 地域新電力会社の設立</li> </ol>                      | <p>⑪ 山中 進（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育現場の現状</li> <li>2 下水道・農業集落排水事業</li> <li>3 施政方針</li> </ol>   |
| <p>② 荒船 功（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 施政方針</li> <li>2 公共施設等総合管理計画</li> </ol>  | <p>⑦ 福井 貴代（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 秩父版CCRC構想のモデル事業</li> <li>2 聖地公園の合葬墓の整備と充実</li> <li>3 西武鉄道「西武秩父駅」の改札口新設</li> </ol>          | <p>⑫ 木村 隆彦（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 小中学校の施設の現状</li> <li>2 観光案内板</li> <li>3 保育園等の使用済み紙おむつの取扱い</li> </ol> |
| <p>③ 高野 宏（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校給食</li> <li>2 学童保育室等の長期休業中の昼食</li> <li>3 南小学校のヘルメット着用登下校</li> <li>4 番場通り電線地中化・無電柱化推進</li> </ol> | <p>⑧ 斎藤 捷栄（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 宮地地内湧水の枯渇の原因究明と対策</li> <li>2 権力者としての市長の政治姿勢</li> <li>3 30年度市長施政方針の中から</li> </ol> | <p>⑬ 小櫃 市郎（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 今年の龍勢祭りの安全対策</li> </ol>   |
| <p>④ 金崎 昌之</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業継承に支援を</li> <li>2 詐欺被害の現状と対策は</li> <li>3 市立病院の医師・看護師確保</li> <li>4 140号バイパス関連道路の交通安全</li> </ol>        | <p>⑨ 落合 芳樹（サンライズ秩父）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地方消滅論</li> <li>2 森林行政</li> <li>3 教育行政</li> </ol>                                       |    |
| <p>⑤ 清野 和彦</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 妙見七つ井戸の調査と復元</li> <li>2 施政方針</li> <li>3 30年度予算</li> <li>4 市長の政治姿勢</li> </ol>                            | <p>⑩ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 施政方針</li> <li>2 福祉女性会館のトイレ改修</li> </ol>  |  |

※市議会ホームページのインターネット録画中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

## （仮称）秩父市最先端 設備等導入促進計画



市民の会・絆 浅海 忠  
あつし ただし

**問** どのような計画なのか、対象となる業種は。

**答** 国は30年度の税制改正大綱の中で、中小企業が設備投資を促進するための税制上の特例措置を示した。「生産性向上特別措置法」が閣議決定され、今後3年間を「生産革命・集中投資期間」に位置付け中小企業や小規模事業者が行う設備投資を促進する方針が打ち出された。各自治体の自主的な判断で固定資産税の課税標準を「ゼロ（2分の1）」の範囲で軽減出来ることとなり、市では「ゼロ」での措置を講じたい。「ゼロの減免」を適用するためには一定の条件があり、国のガイドラインに基づき、市が「導入促進基本計画」を作成する必要がある。中小企業は、基本計画に沿った形で設備導入計画を作成し、市の認定を受けなければ減免措置は受けられない。国のガイドラインが示されるのは30年6月頃とのことで、市の「（仮称）最先端設備等導入基本計画」を策定するのもこれに合わせて。対象となる業種は、製造業やサービス業が想定されている。生産工程やサービスに必要な先端的な設備

**問** であるかが判断基準になる。  
**答** 固定資産税免除の特例とは、仮に、1億円の設備投資が対象となった場合、単純計算すると1年間の固定資産税が140万円、3年間で420万円が減免され市の税収減になるが、減収分の75%は普通交付税で補てんされる仕組みなので実質的には年35万円の減収となる。「ゼロ」に減免することを表明した自治体に限り「ものづくり補助金」が優先的に採択される。

◎第三セクター統合



道の駅ちちぶ(上)  
道の駅あらかわ(下)

道の駅龍勢会館(上)  
道の駅大滝温泉(下)

# 一般質問

## 第1プラント跡地の開発



清流クラブ 荒船 功

**問** すでに12月定例会において、市道632号線が延長され、腰田堀を超えて国道299号に接続することになった。この市道整備に加えてさらに用途地域変更に取り組む理由は。また、太平洋セメント(株)との協議は。

**答** この地域の現在の用途は工業地域で、1万平方メートルを超える大規模商業施設等の建設ができない状況となっている。そこで、市において最も交通需要が多く、国道140号に隣接し、ウニクス・道の駅ちちぶが立地し、商業的な土地利用が進んでいるこのエリアのさらなる利活用を進めるため、上野町交差点周辺の用途と同様の「近隣商業地域」への変更を計画している。今後、「近隣商業地域」へ変更されると、建築規制等が緩和され、観光誘導のための施設や商業施設の拡充などが可能となり、広域サービス地区としての充実に繋がるものと考えている。この跡地開発計画(企業誘致)は、市として何としても成し遂げたい目標であるため、太平洋セメント(株)とも十分な協議を重ね、各種手続きを進めている。

**問** 用途地域を変更するエリアは。旧第1プラント跡地西側の越田堀と国道140号の間、約6.5ヘクタールで、北側は陸橋下の引き込み線跡地、南側はウニクスまでのエリアである。

**答** 道路整備の概要は、国道140号からの進入路として、ウニクス・道の駅ちちぶの間で腰田堀までの現道を延長133メートル道路幅員10メートルのうち片側歩道2.5メートルに拡幅する。



第1プラント跡地へ続く道の駅ちちぶの交差点

## 教育・子育て支援



清流クラブ 高野 宏

**問** 学校給食について食材費等の値上げのため、全国的に給食費の値上げが起きているが、市では現在の給食費でやっていけるのか市の現状は。

**答** 市では、市立幼稚園は月額3200円、小学校月額4千円、中学校月額4800円を給食費として保護者から負担いただき、全て食材費に充てている。最近の野菜の値上げ等食材価格の高騰の中でも、給食費を値上げすることなく、学校栄養士の献立の工夫により、栄養価等の学校給食摂取基準を維持し、おいしく安全で安心な給食を提供することができている。

**問** 学童保育室・ふれあい学校の夏休み等の昼食について、給食等の導入の要望はあるか。今後導入に向けての検討は。

**答** 長期休業中の昼食については学童保育室・ふれあい学校ともに、原則家庭からの弁当をお願いしている。今年度、学童保育室1か所において、保護者の要望により、昼食に仕出し弁当の配達を取り入れた。今回は保護者会が実施主体となり試行的に実施したものが、約半数の児童が利用したも

の、常時利用した児童は数名であった。

これを受け、保護者会にアンケートを実施し、今後の実施について協議を行っている。現在、他の学童保育室では、昼食について、保護者からの要望はないが、こうした状況を踏まえ、公立の学童保育室・ふれあい学校の長期休業中の昼食について、家庭の状況、昼食の衛生面・栄養面、食育の観点や職員の負担等、多方面から研究していく。



安心安全おいしい給食

◎南小「ヘルメット」着用登校  
◎番場通り電線地中化

# 一般質問

## 事業承継に支援を



かなさき まさゆき  
金崎 昌之

**問** 団塊の世代の方々が、事業を後継者にバトンタッチする課題に直面している。雇用の確保という観点からも、事業承継への市の積極的な関わりや支援が必要では。

**答** 黒字経営なのに、後継ぎがないため廃業していく実態があり、非常に深刻な問題。経済団体の状況等を見ながら、市としての支援策を考えていきたい。

## 詐欺被害の現状と対策は

**問** 高齢者をターゲットにした電話等による特殊詐欺被害が心配される。被害状況と対策は。

**答** 秩父警察署管内の29年の特殊詐欺被害は8件で1230万円。防止対策としては、防災行政無線放送等での注意喚起や、相談窓口への案内、金融機関との連携強化等が取り組まれている。

## 市立病院の医師・看護師確保策

**問** 全国で医師が過酷な勤務状態にあると、新聞報道された。市立病院の勤務条件や給与水準が医師・看護師等の要員確保に与える影響をどう考えるか。

**答** 給与水準は、医師が県内9か所の公立病院のうち上から3番目。看護師は、県内10か所の公立病院の中で上から8番目。今後も、必要な勤務環境の改善を図ることで、医師・看護師を確保したい。

## 国道140号と299号接続後の交通安全対策

**問** 国道140号と299号が接続され、関連道路の交通安全に不安の声が寄せられている。

**答** 県との協力体制・情報交換を円滑にし、交通安全対策に努める。



国道140号皆野秩父バイパスと299号の接続地点

## 妙見七つ井戸の

## 調査と復元



きよの かずひろ  
清野 和彦

**問** 秩父夜祭の起源伝承に関連する妙見七つ井戸の内の「四の井戸」は29年12月8日頃から水が減り、12月11日には枯れてしまった。周辺の田んぼはできなくなり畑に転用しているところもあるとのことである。7月の最終日曜日に地元で行う柿澤祭の前日のお水取りでは四の井戸の水を霊水としていただく、というように伝承によれば800年前から現在に至るまで地元住民の精神的な拠り所であると共に、暮らしとともにある水として大切にされてきた。市は「環境文化都市」を目指すべき姿として掲げているが、妙見七つ井戸はまさに秩父の風土・環境と伝統文化・伝承の交差する点に位置する生きた遺産であるといえる。地元町会から市に対して調査と復元を求める要望書が提出されているが、市としてはどのような対応を検討しているのか。

の地下水の出水は確認されなかったとのことである。湧水枯渇の原因が、人為的なものなのか、自然現象によるものなのか、当面その経過を観察したい。



早急な水枯れの原因調査と復元が求められる「四の井戸」

**答** 地下水脈への影響として考えられる枯渇前までの周辺の掘削工事としては、国道140号秩父警察署前交差点から聖地公園入口交差点までの国道西側歩道部分の水道工事などがあるが、工事期間中

◎30年度施政方針（教育の充実・外から人を呼び込む施策の推進・インターネットテレビ事業）  
◎30年度予算（地方交付税の減少・形式赤字を防ぐための財政プラン）  
◎議員提案の定数削減に関する市長の論評と二元代表制への理解

# 一般質問

## 秩父のシンボル武甲山



市民の会・絆 **江田 治雄**  
えだ はるお

**問** 武甲山は、太古の昔からこの山を神の信仰として崇められて来た。まさに御神体を削り日本の高度成長時代に寄与し、秩父の産業発展に大きな功績を残して来た。古今東西御神体を削る話は他に聞いたことが無い。それを受け入れた先人達は、寛容で広い大きな心を持って居たのだと思う。現在の開発3社からの要請により、武甲山の山頂開発が始まったのが、昭和53年頃ときいている。山頂付近に市有林の存在があり、秩父市がキー的立場にあった。市では議会内に「武甲山対策特別委員会」を設置した。信仰対象の山でもあることから、多方面から開発反対のうねりが上がる中、地域にとつて開発の重要性を理解し、同意した結果成し得たと聞いている。すなわち市の英断により開発が始まったと言っても過言では無いと思う。日本実業界の父・渋沢栄一翁も、秩父のセメント業界は日本のインフラを支えた大きな要因であると言っている。開発の経緯と採掘状況について現状を把握しているか。

位は466メートルである。また、今後は国から認可を受けている標高780メートルまで採掘する予定である。なお3社においては有望かつ重要な石灰石資源なので可能な限り採掘すること。市としても今後も注視して見守って行きたい。



秩父のシンボル武甲山

**答** 開発以来の採掘量は、約5億トン。山頂からの採掘レベルの変

◎森林環境税について  
◎地域新電力会社について

## 秩父版CCRC構想のモデル事業について



公明党 **福井 貴代**  
ふくい たかよ

**問** 秩父市生涯活躍のまちづくり構想のモデル事業として、上町3丁目の花の木市営住宅未利用地に計画されている「サービス付き中高年齢者向け住宅(サ高住)」と「交流拠点施設」の計画内容、タイムスケジュール、意見交換会、整備手法等の内容は。

用者にとっては、駅へのアクセスが悪い状況にある。上町側に改札口を新設できないか。  
**答** 33年度からの「都市計画マスタープラン」の策定の検討を30年度から進めていくが、その際に駅周辺のまちづくりとして、鉄道事業者や市民と検討する。

**答** 公募事業者により整備される「サ高住」は、最大40戸・全戸南向き・バリアフリーで、エレベーターも整備していく予定。中庭を配置し、家庭菜園ができるスペースも用意する計画。地元への説明会を開催し、意見も伺う。入居者の募集や施設の運営は民間事業者が行う官民連携事業と位置付けている。「交流拠点施設」は、市が整備主体。完成後の運営は指定管理者を想定。7月実施設計完了、11月工事着工、31年3月竣工を予定。「サ高住」は4月整備及び運営事業者の公募、5月事業者決定。8月から9月に着工、31年6月ころ竣工となるよう進める予定。

## 「西武秩父駅」に改札口新設

**問** 現在の改札口と反対側の駅利

**問** デマンド交通システムなど、二次交通の整備について検討は。  
**答** 全国の先進事例を精査、研究し、引き続き関係機関との協議を進め、公共交通の充実に努める。

**秩父市生涯活躍のまちづくり(秩父版CCRC)**

秩父市では、「都市部などの住居が、自らの意志で秩父へ移り住み、秩父の歴史と文化を継ぎながら、暮らしやライフスタイルを築きあげるとともに、高齢・高齢化社会の中で暮らすための住まいを確保していく」

秩父版CCRCを実現するための2つのプロジェクト

- ① 公共的施設(福祉・文化施設)の整備
- ② 住宅(高齢者向け住宅)の整備

住宅(高齢者向け住宅)の整備

高齢者の暮らしを支えるために、中核的サービス(高齢者向け住宅)を整備し、住みやすさを確保します。

高齢者の生活を支えるために、高齢者向け住宅(交流拠点施設)を整備し、その整備事業を公募事業者による実施です。

高齢者の生活を支えるために、高齢者向け住宅(交流拠点施設)を整備し、その整備事業を公募事業者による実施です。

秩父市版CCRC概要



花の木住宅未利用地

◎聖地公園の合葬墓の整備と充実